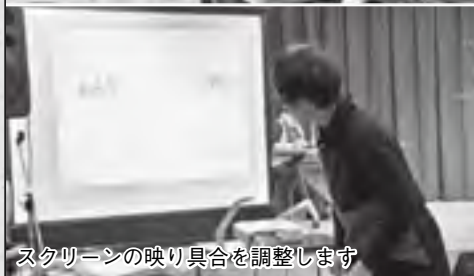


南丹市身体者障害者福祉会八木支部
新年会 活動の様子(1/17)



来賓者あいさつをフィルムに書き出し、準備します



スクリーンの映り具合を調整します



話者のスピードに合わせてスクリーンに表示させていきます

メンバー・活動依頼を
募集しています

「要約筆記サークル大堰」では、一緒に活動いただける方を募集しています。毎月第2水曜日、南丹市社会福祉協議会八木事務所で例会や練習をしています。

また、依頼があれば地域のサロンなどの集まりにも出向かいますので、お気軽にお問合せください。

《問い合わせ先》

南丹市社会福祉協議会八木事務所
TEL：(0771)42-5480



難聴者へ情報を届ける

～要約筆記サークル 大堰～

「要約筆記サークル大堰」は平成11年に結成され、八木町の象徴である大堰川から命名されました。現在は60～70代の女性6人で活動されています。要約筆記とは、耳の不自由な方々に向けて文字で情報を伝えるコミュニケーション手段で、講演会などでの話を書き出したものを会場のスクリーンに投影したり、会場や設備環境などによつては、耳の不自由な方の隣で筆記するノートテイクなどがあります。

活動では、講演会などの主催者から仕事として依頼されたり、ボランティアとして八木町難聴者の会の行事に協力されるほか、京都府難聴者協会の行事など、幅広い活動をされています。

を伺うと「自分のできる範囲で耳の不自由な方の手助けをしたい」「音訳や要約筆記ボランティアの方の輝いた姿を見て、やりがいのある活動をしたと思った」とお



▲八木町難聴者の会での活動(2/5)

話いただきました。また、「活動終了後には『ありがとう』『良く分かった』と声を掛けていただいたりすると元気が出ます」とやりがいを語られました。「落語などを要約筆記することがあり、文字だけで場の空気や面白さを伝えることは難しい」と苦労をされながらも、「講演会などでは、要約筆記がないと来られない方もいらつしゃいます。私たちの活動がもつと認知され、情報に壁のない社会を広げていきたい」と情報保障の大切さと今後の展望を話されました。